

平成16年度東北海区海況予報 第2号

平成16年6月14日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2004年6~8月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(35°N~36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~南偏で推移する。
- (3)釧路南東沖の暖水塊、および常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(38°N以北)で推移し、三陸南部~常磐近海には冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

《海況の経過(2004年2月~2004年5月)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏~かなり南偏(35°30'N~36°N)で推移した。
- (2)釧路南東沖の暖水塊は停滞しており、金華山沖の暖水塊は南西へ移動した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月に急激に南下した後3月には北偏したが、4月以降再び南下し、5月にはやや南偏した(38°20'N)。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、2月と4月はやや弱勢、3月と5月はやや強勢~強勢と変動が激しかった。
- (5)表面水温は、2月以降東北海区以北で平年より低めで推移した。

《現況(2004年5月下旬~6月上旬)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏傾向(35°20'N)である。
- (2)暖水塊が釧路の南東沖約250km*、および常磐沖の沖合約250kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、南下傾向が著しく強まり、かなり南偏傾向である(36°40'N)。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢である(143°E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による